

金沢港湾・空港整備事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども金沢港湾・空港整備事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、金沢港・七尾港・輪島港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



金沢港・七尾港カーボンニュートラルポート形成への取組

金沢港・七尾港では、次世代エネルギーの受入環境整備や脱炭素化に配慮した港湾ターミナル内の港湾機能の高度化等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指す「カーボンニュートラルポート」の形成に向けて、官民一体となった協議会を立ち上げ検討を進めており、両港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組について、必要な支援を行って参ります。



荷役機械のハイブリッド化



船舶への陸上電力供給

【目標】 2022年度: 検討協議会を立ち上げ、金沢港・七尾港CNP形成計画の策定 → 計画目標達成に向けた取組



総合学習・出前講座の実施

金沢港湾・空港整備事務所では、「みなと」が地域に果たす役割や、当事務所が行っている事業や防災に関することなどについて紹介させていただく「総合学習支援」を実施しています。総合学習は出前講座等による「みなとの紹介」等のほか、「港湾業務艇: わかなⅡ」による海上からの「みなと見学」といった取組を実施しています。



【目標】 2022年度: 4回 → 2030年度: 12回



金沢港大野地区西防波堤の改良

金沢港大野地区においては、2009年度から、港内の航行船舶の安全性、利便性の確保、および防波堤の安定性を確保するため、西防波堤の改良を行っています。2022年度からは、近年の気象状況を考慮した高波に対応した改良を行っています。

